



# 東京全労協

2014年1月1日 60  
 東京都港区新橋6-7-1  
 川口ビル6F  
 TEL. 03 - 5403 - 1650  
 FAX. 03 - 5403 - 1653  
 発行人 額額 朗  
 定 価 1部 10 円

## 闘 春



### 「反戦平和・護憲・人権」が 尊重される社会を実現しよう！ 東京全労協議長 額額 朗



東京全  
 労協に結  
 集されて  
 いる仲間  
 の皆さん  
 そして家  
 族の皆さん、新年明けまし  
 て、おめでとーございませ  
 う。今年一年のご健康とご繁栄  
 を心よりお祈り申し上げます。

さて、民主党から自民党に政権が戻り1年が過ぎました。安倍政権は、生活破壊で苦しむ労働者・市民のためのデフレ脱却に向けた具体的な経済政策などを先送りし、企業利益を最優先させ、国民生活を犠牲にする「アベノミクス」を強行しました。そして、財政赤字の原因や、社会保障制度の具体策などを明らかにすることなく、消費税の増税を閣議決定し、更なる負担増を押し付けています。

また、自衛隊の国防軍化を目的とした「積極的平和主義」と題しての憲法改悪や、表現の自由や国民の知る権利を脅かす「特定秘密保護法」の強行採決など暴走がとまりません。

労働分野では、「日本を世界で一番企業が活動しやすい国にする」とし、「産業競争力会議」や「規制改革会議」の答申に基づいて、勤

務地や仕事がなくなれば解雇できる「限定正社員制度」の導入、全ての業種に期限を限定することなく、派遣労働を可能にする「派遣法の改悪」など、労働者を使い捨てる「安倍政権の雇用破壊攻撃」に屈することなく、闘いを強化することが重要だと思っています。

とりわけ闘いの場は14春闘です。すでに14けんり春闘全国実行委員会が発足し、闘う体制が確立され春闘時の具体的な取組みを進めています。派遣法、労働時間法の改悪攻撃を跳ね返す闘いと結合させ、要求実現に向け14春闘を総団結で闘い抜きましょう。

また、2月の都知事選についても、一昨年の都知事選で「脱原発」「反貧困」を掲げた宇都宮けんじ氏を支持した経過を踏まえ、春闘時の重要な取組みと位置付け、支持協力関係ができていく候補を応援したいと思っています。

本年も東京全労協は、地域に根ざした取り組みや大衆行動、労働相談など、争議組合、未組織労働者や外国人労働者、地域住民の信頼を得て、すべての労働者の「生活と権利」が守られ、「反戦平和・護憲・人権」が尊重される社会を目指し、引き続き取組みを強化していく決意です。

引き続き東京全労協に結集し、ともに闘い団結を強化していただくことをお願いいたします。共にかんばりましょう！

### 第24回東京全労協 定期大会を開催

東京全労協第24回定期大会は、2013年12月7日に飯田橋SKプラザホールで開催し、活発な討論の中から成功を勝ち取ってきました。

安倍政権は、前日の6日深夜に特定機密保護法案を強行採決し、11月に国家安全保障会議（日本版NSC）を成立させ、「戦争をする国づくり」を断行しています。また労働法の改悪を行い、労働者を使い捨てる雇用破壊を押し進め、「エネルギー基本計画」で「原発ゼロ」からの転換を打ち出し、安倍政権の超反動化の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

大会は66名の代議員出席（委任状含む）を得て、大会議長に国労東京から野佐根浩己代議員、全国一般東京南部から柿本哲夫代議員を選出し進行了しました。

大会にあたり額額議長から、台風での被災と震災で避難生活をおこなう中での政治状況の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

大会は66名の代議員出席（委任状含む）を得て、大会議長に国労東京から野佐根浩己代議員、全国一般東京南部から柿本哲夫代議員を選出し進行了しました。

大会にあたり額額議長から、台風での被災と震災で避難生活をおこなう中での政治状況の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

大会にあたり額額議長から、台風での被災と震災で避難生活をおこなう中での政治状況の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

大会にあたり額額議長から、台風での被災と震災で避難生活をおこなう中での政治状況の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

大会にあたり額額議長から、台風での被災と震災で避難生活をおこなう中での政治状況の暴走が止まらない政治状況の中での開催となりました。

JAL不当解雇撤回裁判原告団・鈴木事務局長から受けました。

質疑討論では、東京都学校ユニオン、全国一般東京労組・フジビ分会、全国一般東京労組・NTT関連合同分会、全統一労組井上眼科分会、からそれぞれ争議報告や決意表明、取り組み要請などの補強的な意見を受けました。

闘争報告は東部労組デイベソノイ労組支部からあり、第1号議案（総括・方針）及び第2号議案（決算・予算）は、満場の拍手で確認されました。

第3号議案（役員選出）は、4役として議長に額額朗（東京清掃労組）、副議長に中澤和夫（国労東京）、中原純子（全国一般東京労組）、事務局局長に久保聡（全水道東水労）、事務局次長に中島由美子（全国一般東京南部）が承認されました。

大会決議は、「安倍政権の雇用破壊を許さない決議」「脱原発、エネルギー政策の転換を実現する決議」「反戦・平和の決議」の3本が採択されました。

今大会で退任されました横須賀博常任幹事、中島浩常任幹事、小島郁久常任幹事、山崎努会計監査委員につきましては、長年に渡り役員ありがとうございました。

事務局長 久保 聡

# 2014年 新年の決意

## 東部全労協

よつてたかつて闘う  
初心を忘れず  
今年も元気良く



東部全労協議長 岸本町雄

安倍政権の大企業優遇、アメリカの番犬、弱者きりすでの反動政治は露骨さはつきりと国民の前に暴露したこの一年でした。

とりわけ特定秘密保護法案の自公による強行採決は、国民とあらゆる階層の人間の圧倒的反対の声を完全に無視する強権政治のなにもでもありません。

国民を馬鹿にするのもいい加減にしる。その後の朝日新聞世論調査では、安倍内閣支持率では、50%を切り、46%にまで下がったことは、国民の怒りをつた結果を示しています。

また、労働法制の改悪は結局のところ企業主が労働者を今まで以上に搾取を強化し、経営者が合法的に労働者を自由に使用するため改悪でしかなく、非正規労働者の増大と貧困の拡大でしかありません。

東部全労協は今年も全ての争議組合の支援を元気に、よつてたかつて闘う気迫で連帯を深めていきたいと思っています。

フジ製版の偽装倒産では、支援共闘会議の結成が準備されており、1月29日に結成集会とデモが予定されています。

また、あの有名な御茶ノ水の井上眼科病院で全統一労組の組合員への不当解雇があり支援の輪を広げたいと思っています。

## 練馬全労協

労働運動を強化し  
政治反動を  
打ち破ろう！



練馬全労協議長 三澤昌樹

安倍政権は、日本をアメリカと一緒に戦争ができる国へ変えようと、数の力で強引に押し進めています。国家安全保障会議（日本版NSC）、特定秘密保護法、教育委員会制度の改変、集団自衛権への踏み込みと一気呵成に押し進めています。



危機感を覚え、なんとかしなければならぬと強く感じています。今年は正念場の年になります。

こうした政治の反動化を許しているのは労働組合の弱体化です。成果主義、成績主義で労働者がばらばらにされ、正規労働者から不安定な非正規労働者への労働力の流動化がさらにそれを促進しました。

こうして労働者は資本に対して政府に対しても団結して闘わなくなりました。組織労働者の立ち上がりは決定的に遅れています。

練馬全労協は地域での平和運動に力を入れてきました。引き続き反核、沖縄、日の丸・君が代問題などの取り組みを強化し、安倍政権の策動に反撃していきま

## 西部全労協

原発をなくす闘いとJAL不当解雇撤回に向けた闘いを中心に！



西部全労協議長 宮崎則安

東京西部全労協は、12月4日に第23回定期大会を新宿農協会館にて開催しました。

大会は和田副議長の司会で始まり、大会議長には国労から市村代議員が選出され、宮崎東京西部全労協議長

の挨拶の後、来賓の挨拶として東京全労協から頼綱議長、屋代新宿区労連事務局長、新宿地区労センターからは矢島事務局長、社民党からは河野区議から挨拶を受けました。

その後2012年度の経過・総括、各闘争報告、会計報告、予算提案と進みま

働者同士の団結を確かなものにし、政治に対しても組合員がきちっと取り組めるような組合づくりを進めていきたいと考えています。

NTT木下さん、JAL闘争団からは藤田さんからそれぞれ力強い報告と決意がありました。

今私たちを取り巻く状況は、消費税の増税、原発事故・放射能漏れ・除染問題、特別秘密保護法、労働法制・派遣法改悪、尖閣諸島をめぐる領有権問題、普天間基地とオスプレイ配備、14春闘などどれをとってもかっつてない厳しい状況にあります。

そのような状況ではあります。西部の地域ではこれまで力点を置いてきた、原発をなくす闘いとJALの不当解雇撤回に向けた闘いを中心に地域・全国の仲間と共にこの1年間闘うことを意思統一しました。

## 三多摩全労協

春闘での闘いを、労働法制改悪反対、憲法改悪反対の力に



三多摩全労協議長 大森孝

三多摩全労協の活動は毎年、春闘立川デモの準備から始まります。

今年も労働法制規制緩和の流れに対し、三多摩の地域からもNOという声を大きく

くするために、例年以上の取り組みを広げたいと考えています。従来の労働組合の枠組みだけで参加者数を考えると、どうしても団塊世代の定年退職による組合員数減の問題に突き当たります。

労働法制規制緩和は、派遣で働く事を余儀なくされたり、長時間低賃金労働を余儀なくされている若い未組織労働者にとっても大きな問題です。

そして、2014年春闘では多少の賃上げの実現が大企業正規雇用では可能となりそうですが、その恩恵を中小企業や非正規労働者が受ける可能性はそのままでは期待できません。大企業も中小企業も、正規も非正規も労働条件が向上する取り組みをするのは労働組合であると、労働組合の力をもっと宣伝する必要があります。

春闘再生、春闘デモを更に一回り大きなものにする

ためには、未組織労働者の組織化が欠かせません。職場で、インターネットで、街頭で、未組織労働者に私達の声が伝わる取り組みをしていきたいと考えています。

## 今年も奮闘しよう！

東京全労協は、全国全労協と合同で左記の通り、新春旗開きを開催致します。みなさんのご出席をお待ちしております。

2014年1月17日(金) 18時30分/交通ビル B1ホール、参加費は不要です。



## 井上眼科病院は理不尽な不当解雇を撤回せよ！

12月14日12時から、御茶ノ水の井上眼科病院前で、全統一井上眼科病院分会・福井分会長に対する解雇の撤回を求める抗議行動が行われました。全統一の組合員や争議団の仲間をはじめ、東京全労協の組合員が多数参加した抗議行動は、井上眼科病院に通院する患者さんをはじめ、御茶ノ水駅の乗降客に向けたビラ配布と合わせて、支援の組合員が交代でマイクを握り、福井分会長の不当解雇撤回を訴えました。

JAL原告の鈴木さんは、福井さんの解雇撤回を求めるとともに、三井住友銀行から井上眼科病院に来た管理職による病院女性職員へのセクハラ行為は、女性として絶対に許せないと怒りを込めた発言がありました。通院している女性が驚いて聞き入っていました。